

## 日本製紙が 23/3 期業績予想を公表—今後の利益改善の道筋を注視

以下は、日本製紙株式会社（証券コード：3863）が 23/3 期業績予想を公表したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

### ■見解

- (1) 当社は 8 月 5 日に、23/3 期第 1 四半期決算とともにこれまで未定としていた通期業績予想を公表した。23/3 期の営業損益は 200 億円の赤字（22/3 期 121 億円の黒字）、親会社株主に帰属する当期純損益は 250 億円の赤字（同 20 億円の黒字）となっている。22/3 期下半期から各種製品の価格修正に取り組んでいるものの、それを上回る石炭をはじめとする原燃料価格の高騰や物流経費の高止まりが赤字となる主因である。
- (2) JCR では、22 年 3 月 2 日に当社の長期発行体格付の見通しを「安定的」から「ネガティブ」へと変更している。事業構造改革に取り組んでいるものの、収益力の回復に時間を要していることを反映したものである。その後の事業環境はさらに厳しさを増しており、収益性の悪化は JCR の想定を超えている。当社では洋紙事業の生産体制の見直しやコストダウンなど一段の構造改革も検討するとしている。JCR では、その取り組み並びに利益改善の道筋を慎重に見定め、格付への反映を行っていく方針である。

（担当）本西 明久・村松 直樹

### 【参考】

発行体：日本製紙株式会社

長期発行体格付：A

見通し：ネガティブ

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会が定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル